

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	下水道河川部 下水道河川管理課
評価シート作成者	課長 桂田 孝

評価対象施策目標（＝課かい目標） **48 下水道・河川施設の信頼性を確保する**

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	4 人々が行きかい 自然と共生する便利で快適な まちづくり
②政策目標	1 2 快適な水環境が守られるまち
③施策目標	4 8 下水道・河川施設の信頼性を確保する
④施策の方向性	1 管路の耐震化と計画的・効率的な改築 2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理

2. 施策目標の達成方針

下水道施設による日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故や機能停止を未然に防止します。計画的・効率的な改築事業を推進するため、施設の劣化状況を調査、劣化の進行度合いを把握し、下水道施設の老朽化に伴う事故を未然に防ぐ予防保全の考え方に立ち改築を行います。また、限られた財源の中で耐用年数の延伸やライフサイクルコストの縮減を図り、耐震化等の機能向上も考慮した長寿命化対策を推進します。

東日本大震災による被災状況や計画停電等の状況を迅速に把握し、「放射線量の高い箇所への対応方法について」により放射線対策を行います。

「茅ヶ崎市防災対策強化実行計画」に掲げた各項目の事業実施に向けて準備を行い、全庁の業務継続計画の策定作業をにらみながら、「（仮称）下水道版業務継続計画（地震・津波編）」の策定に向けた準備を行います。

下水道施設の老朽化に伴う事故等を未然に防止するためには、計画的に予防保全的な維持管理を実施することが必要であり、そのため、「（仮称）下水道維持管理計画」の策定に向けた準備作業を行います。

平常時より河川、水路等について浚渫や除草など適切な維持・管理を行い、市内の浸水箇所の軽減を図り、安全・安心なまちづくりを目指します。また、駒寄川流域は度重なる浸水のため、当面の対策として暫定整備を行います。

3. 職員配置の状況

（24年3月31日現在）

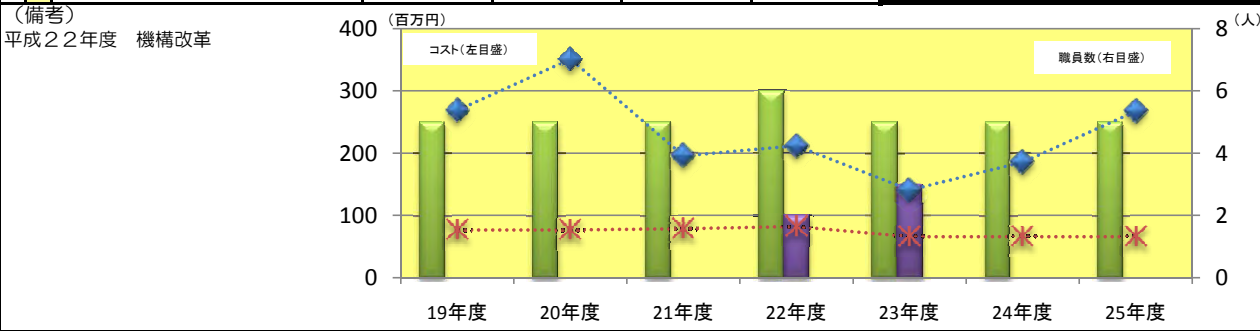
No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数
1		課長	2年0月	16	河川水路担当	技能労務職（再任用）	2年0月
2	河川水路担当	課長補佐	3年0月	17	公共下水道担当	技能労務職（再任用）	1年0月
3	公共下水道担当	課長補佐	1年0月	18	河川水路担当	技能労務職（臨時）	1年0月
4	公共下水道担当	担当主査	1年6月	19			年月
5	公共下水道担当	主査	1年0月	20			年月
6	公共下水道担当	主査	5年0月	21			年月
7	公共下水道担当	副主査	1年0月	22			年月
8	河川水路担当	主任	5年6月	23			年月
9	公共下水道担当	主任	3年0月	24			年月
10	河川水路担当	主任	2年0月	25			年月
11	河川水路担当	主任	1年0月	26			年月
12	公共下水道担当	主事	1年0月	27			年月
13	公共下水道担当	技能労務職	14年0月	28			年月
14	河川水路担当	技能労務職	7年0月	29			年月
15	公共下水道担当	技能労務職（再任用）	2年0月	30			年月

職員数計 18名（うち常勤 14名・再任用 3名）外 非常勤嘱託 名・臨時 1名・その他 名

4. 施策推進コスト

（単位：事業、職員1人 千円/職員数人）

一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	345,485	427,676	274,646	294,399	207,272	251,915	333,743
財源 特定国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
内源 その他	0	0	0	0	0	0	0
訳 一般財源	345,485	427,676	274,646	294,399	207,272	251,915	333,743
事業実施に係るコスト b（折れ線グラフ）	268,869	351,092	195,924	212,154	141,151	185,794	267,622
うち委託料	140,172	176,430	66,683	76,806	51,191	77,546	64,814
従事職員に係るコスト c（折れ線グラフ）	76,615	76,584	78,722	82,245	66,121	66,121	66,121
常勤職員数（棒グラフ左）	5	5	5	5	6	5	5
再任用職員数（棒グラフ中）	0	0	0	2	3	0	0
非常勤・臨時等職員数（棒グラフ右）	0	0	0	0	0	0	0

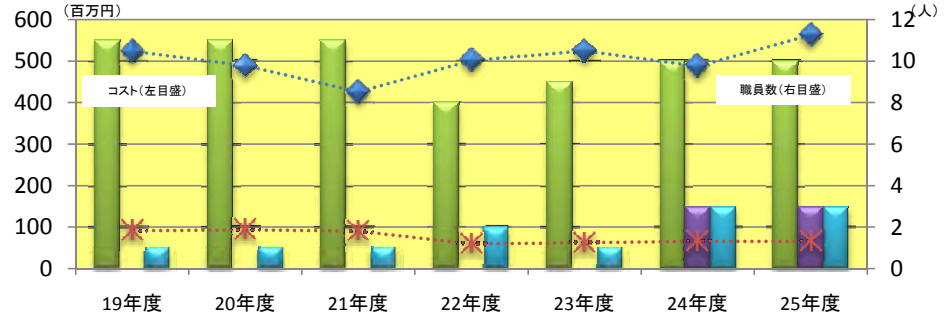


(単位：事業、職員別千円/職員数人)

下水道事業特別会計		19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c		615,231	582,438	512,560	532,388	580,006	681,757	740,246
財 源 内 訳	特定国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	398,114	180,169	329,672	342,532	356,083	431,729	581,739
	一般財源	217,117	402,269	182,888	189,856	223,923	250,028	158,507
事業実施に係るコスト b (折れ線グラフ)		523,644	488,860	425,981	501,920	525,044	487,758	563,286
うち委託料		277,566	257,099	249,405	194,052	312,666	318,150	377,342
従事職員に係るコスト c (折れ線グラフ)		91,587	93,578	90,454	59,914	62,800	66,204	66,042
常勤職員数 (棒グラフ左)		11	11	11	8	9	10	10
再任用職員数 (棒グラフ中)		0	0	0	0	0	0	3
非常勤・臨時等職員数 (棒グラフ右)		1	1	1	2	1	3	3

(備考)

平成22年度 機構改革

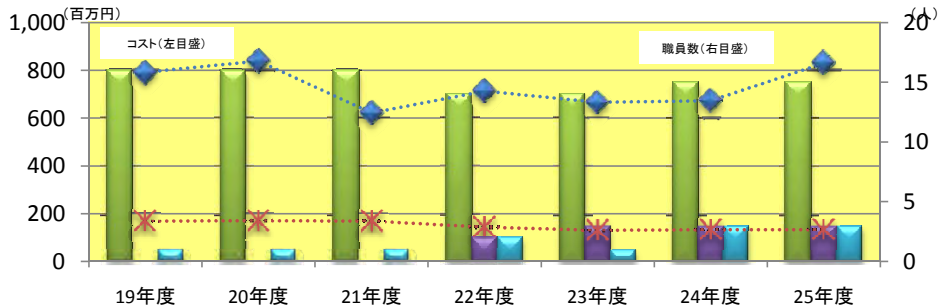


(単位：事業、職員別千円/職員数人)

全会計 (一般会計+下水道事業特別会計)		19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c		960,716	1,010,114	791,081	856,233	795,116	805,877	963,071
財 源 内 訳	特定国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	960,716	1,010,114	791,081	856,233	795,116	805,877	963,071
事業実施に係るコスト b (折れ線グラフ)		792,513	839,952	621,905	714,074	666,195	673,552	830,908
うち委託料		417,738	433,529	316,088	270,858	363,857	395,696	442,156
従事職員に係るコスト c (折れ線グラフ)		168,203	170,162	169,176	142,159	128,921	132,325	132,163
常勤職員数 (棒グラフ左)		16	16	16	14	14	15	15
再任用職員数 (棒グラフ中)		0	0	0	2	3	3	3
非常勤・臨時等職員数 (棒グラフ右)		1	1	1	2	1	3	3

(備考)

平成22年度 機構改革



5. 施策目標の達成状況

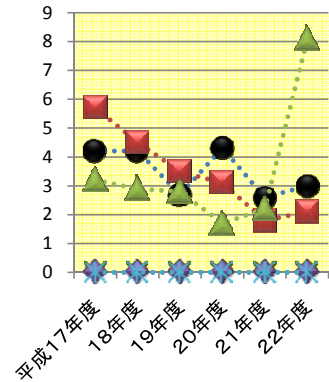
No.	指標名 指標算出 式・定義等	単位	目標値	実績値	進捗率	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1	千の川のBOD値 BOD基準値 3.0mg/L以下	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	3.0
			現状値	実績値	—	—	—	—	見込値	目標値
			—	—	—	—	—	—	進捗率	100%
			2.6	3.0	100.0%	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			—	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(指標の他団体比較) (出所)

団体名\年度	平成17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
●茅ヶ崎市	4.2	4.2	2.7	4.3	2.6	3.0
■藤沢市	5.7	4.5	3.5	3.1	1.8	2.1
▲平塚市	3.2	2.9	2.8	1.7	2.2	8.1
◆						

(指標の進捗状況分析)

平成21年度より基準値を下回っており、この数値を維持するために引き続き河川の浄化を促進します。



6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No	事業名(会計区分)	指標名	指標名					
			平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
			事業費	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	—	—	目標値	目標値	目標値
	事業概要		現状値	実績値	実績値	—	—	
			達成率	—	達成率	—	—	
1	下水道長寿命化計画策定(下水道事業特別会計)	長寿命化の進捗率						
	茅ヶ崎市下水道整備計画を勘案したなかで、下水道施設の老朽化による事故や地震時における機能停止を未然に防止するため耐震を考慮し、耐用年数の延伸やライフサイクルコストの縮減を図るために策定しました。今後は下水道長寿命化計画について国土交通省の承認を得るための協議を行います。	%	決算 0	決算 1,640	決算 4,350	予算 0	計画 7,480	
			—	—	0	0	0	
			0	0	0	—	—	
			—	—	0.0%	—	—	
2	下水道施設情報システム構築事業(下水道事業特別会計)	システム構築箇所数						
	現在、今宿ポンプ場を中央局として下水道施設の監視制御を行っています。雨水ポンプ施設及び雨水吐きの機器の動作状況を一元管理するために常時監視するシステムを構築し、豪雨時や災害時における防災体制の充実を図るものです。	局	決算 15,120	決算 9,818	決算 9,734	予算 22,040	計画 49,040	
			—	—	37	1	1	
			2	3	31	—	—	
			—	—	83.8%	—	—	
3	駒寄川整備事業(一般会計)	整備延長						
	駒寄川末改修区域の浸水被害の軽減のため、現況断面の拡幅整備(暫定計画断面)を行います。	m	決算 23,649	決算 60,824	決算 32,260	予算 49,964	計画 75,000	
			—	—	1,100	95	120	
			119	66	440	—	—	
			—	—	40.0%	—	—	
4	不明水調査及び管更正事業(下水道事業特別会計)	更正延長						
	下水道管渠への不明水の浸入対策については、下水道管渠の流下能力を確保する上で必須であり、不明水調査を行い、不具合箇所の管更生工事を実施することにより、流下能力の確保及び、道路内等における不測の陥没事故を未然に防止するものです。	m	決算 81,502	決算 84,133	決算 83,230	予算 100,000	計画 110,000	
			—	—	40,180	4,100	3,600	
			3,774	3,971	40,180	—	—	
			—	—	100.0%	—	—	
5	管路施設及び雨水吐きの維持補修に係る事務(下水道事業特別会計)	課題発生件数						
	管路および雨水吐きなどの下水道施設の適切な維持管理、修繕等を行うことにより、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図るとともに、豪雨時や災害時における不測の事態を回避し、浸水被害の軽減を図るものです。	件	決算 121,071	決算 136,875	決算 137,723	予算 92,477	計画 92,479	
			—	—	0	0	0	
			0	0	0	—	—	
			—	—	100.0%	—	—	
6	河川の維持管理に係る事務(千ノ川・駒寄川)(一般会計)	課題発生件数						
	河川の浚渫、除草等適正な維持管理を行うことにより、豪雨時や災害時における不測の事態を回避し、浸水被害の軽減を図るものです。	件	決算 39,431	決算 44,917	決算 27,507	予算 33,633	計画 33,553	
			—	—	0	0	0	
			0	0	0	—	—	
			—	—	100.0%	—	—	
7	ポンプ場の維持管理に係る事務(一般会計・下水道事業特別会計)	課題発生件数						
	雨水ポンプ場施設の適切な維持管理、修繕、運転を行うことにより、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図るとともに、豪雨時における不測の事態を回避し、浸水被害の軽減を図るものです。また東日本大震災の計画停電の実施に伴う外部電源の確保に向けた取組を進めていきます。	件	決算 170,637	決算 208,120	決算 234,914	予算 233,218	計画 242,174	
			—	—	0	0	0	
			0	0	0	—	—	
			—	—	100.0%	—	—	

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

①施策目標達成に向けた指標の進捗状況	□ 達成	□ 順調	■ 遅れている 25年度目標値達成可能	□ 大きく遅れている 25年度目標値達成困難
②これまでの取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> ・駒寄川整備事業は整備計画延長が1,100mで平成29年度完成を目指しており、平成23年度現在440mを整備済みで、進捗率は40%となっています。 ・不明水調査及び管更生事業につきましては、平成22年度までに34,637mを調査し、管更延長は4,692mとなっており、過去5年間の執行額は、556,021,200円となりました。 ・下水道施設情報システム構築事業につきましては、37箇所あるポンプ施設のうち、31箇所の遠方監視が可能になりました。 ・平成23年度には管路施設の耐用年数延伸やライフサイクルコストの縮減を図るため、下水道長寿命化計画を策定しました。 ・千ノ川及び駒寄川につきましては、浸水被害の軽減及び水辺環境の浄化を図るため、流路整備、浚渫及び除草を行い、日々維持管理を行っています。 ・管路及び雨水吐きなどの下水道施設につきましては、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全及び浸水被害の軽減を図るため、浚渫及び修繕等を行うことにより、日々維持管理を行っています。 			
③課題認識と解決への方策	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の公共下水道は、昭和38年度に着手され、以来、現在の整備状況は、平成23年度末で汚水の人口普及率が97.4%、雨水の整備率が51.2%に達しており、その施設のストックは莫大なものになっています。日常生活や社会生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の老朽化による道路陥没や、機能停止を未然に防止するといった、下水道本来の機能を常に保ち続けるために適切な下水道施設の維持管理を実施することが求められており、老朽化した下水道管渠の改築・更新について予防保全的な視点から管路施設の長寿命化を行い、ライフサイクルコストの縮減を図り、良好な生活環境を保全します。 ・下水道施設の監視制御は、現在今宿ポンプ場を中央局として行っていますが、未だ連携の取れていない6子局（雨水ポンプ）及び4雨水吐の機器の動作状況を常時監視するシステムを構築するとともに、海岸雨水吐の状況をライブカメラで監視することで波浪や津波情報を把握できるような防災体制の充実に努め、安全・安心なまちづくりを進めます。 ・近年の傾向として、集中豪雨や土地利用形態の変化により雨水が浸透、あるいは貯留できる環境が減少し、短時間で河川へ集中する状況が増えていることが一因となり、予想を越える浸水被害が多発しており、台風や大雨時における浸水等による被害の軽減が望まれているため、河川の流路整備、浚渫等適正な維持管理を行ってまいります。また駒寄川未改修区域においては、護岸の暫定整備を促進します。 ・公共下水道雨水渠の未整備地域や排水不良地区では浸水災害の軽減と環境浄化が求められているため、一般排水路の新設、改良工事を行います。 ・河川、水路等の草刈りや花壇などの維持管理については、自治会やNPO等との協働について検討を進めます。 ・被災時にも事業を継続可能な方法を定めるため、「（仮称）下水道版業務継続計画（地震・津波編）」を策定します。 ・下水道設備の計画的かつ効率的な管理や予防保全及び事後保全の中長期的な設備状態を把握するため、「（仮称）下水道維持管理計画」を策定します。 ・工事の積算及び現場監理を（財）都市整備技術センターへ委託し、技術的な助言を受けることで経験年数の浅い職員の人材育成を図ることを検討します。 			
④議会等からの指摘・要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道雨水渠の未整備地域や排水不良地区では浸水災害軽減対策の要望が出ています。 ・排水路においては蓋掛け等の整備や浚渫や除草等の環境浄化の要望がでています。 ・下水道管渠への不明水浸入防止及び管渠更生事業については引き続き継続することが求められています。 			

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ)

621,905	714,074	666,195	673,552	830,908
---------	---------	---------	---------	---------

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	2	駒寄川整備事業		23,649	60,824	32,260	49,964	75,000
2	一般会計	0	庁内共通事務		2,739	2,791	2,526	3,665	3,630
3	一般会計	2	排水路新設事業(排水不良地区の解消)		51,846	31,274	12,760	9,969	10,000
4	一般会計	2	河川の維持管理に係る事務(千ノ川)		22,674	23,867	11,296	21,233	21,153
5	一般会計	2	河川の維持管理に係る事務(駒寄川)		16,757	21,050	16,211	12,400	12,400
6	一般会計	2	ポンプ場維持管理に係る事務(一般会計)		9,888	11,180	14,299	16,788	21,152
7	一般会計	2	水路の維持管理に係る事務		68,371	61,168	51,799	71,775	71,775
8	下水道事業特別会計	1	ポンプ場維持管理に係る事務(特別会計)		160,749	196,940	220,615	216,430	221,022
9	下水道事業特別会計	1	不明水調査及び管更正事業		81,502	84,133	83,230	100,000	110,000
10	下水道事業特別会計	1	下水道施設情報システム構築事業		15,120	9,818	9,734	22,040	49,040
11	下水道事業特別会計	1	柳島ポンプ場改築事業		-	-	-	-	20,000
12	下水道事業特別会計	1	汚水桝の設置に係る事務		3,444	13,830	5,319	6,500	6,500
13	下水道事業特別会計	1	公共下水道の水質検査に係る事務		23,808	23,706	20,652	26,177	26,391
14	下水道事業特別会計	1	下水道台帳の作成に係る事務		19,334	19,096	18,104	20,118	20,118
15	下水道事業特別会計	1	管路施設及び雨水吐きの維持補修に係る事務		121,071	136,875	137,723	92,477	92,479
16	下水道事業特別会計	0	災害応急対策活動		-	-	-	-	-
17	下水道事業特別会計	1	下水道長寿命化事業策定業務		0	1,640	4,350	0	7,480
18	下水道事業特別会計	0	庁内共通事務		953	882	432	4,016	4,506
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52	一般会計		振り分け不能額						52,512
53	下水道事業特別会計		振り分け不能額			15,000	24,885		5,750
			振り分け不能額						
			小計(イ)		621,905	714,074	666,195	673,552	830,908

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額	
1					-	-	-	
2					-	-	-	
3					-	-	-	
4					-	-	-	
5					-	-	-	
			小計(ウ)	0	0	-	-	-

(備考)
※平成23年度の下水道事業特別会計の決算額には、特例的支出が含まれています。